

大きな憧れをいだく大草っ子



大草小学校だより 「だいじょうぶ」

第11号 平成29年10月23日(月) 校長 有谷孝彦

学校づくりの合言葉 「大草トライアングル！」 トリプルC

自信 (Confidence) 挑戦 (Challenge) 思いやり (Consideration)



子どもたちのために！

一雨ごとに気温が下がってきたことを体感します。朝の校門でのあいさつも少しずつではありますが、気持ちのこもったあいさつに変わりつつあります。矢のごとく過ぎ去る年度後半を大切に過ごしていきたいと思えます。



さて、13日(金)に諫早市教育研究会視聴覚部会の授業公開を大草小で行いました。電子黒板やデジタル教科書な

どのICT機器を黒板とチョークのように普段の授業で道具として扱えることや複式学級での有効的な活用の仕方などを観ていただきました。授業者の吉原先生には、進取の気概を感じるとともに、子どもたちのために授業を改善しようとする強い思いを感じます。授業公開当日は、30名を超える市内の先生方が参観されるなか、子どもたちは目を輝かせながら頑張っていました。このような場を設けることも私たちの大切な役目であると考えております。



裾模様

山のふもとの

楓や蔦は

松をいろどる

数ある中に

濃いも薄いも

照る山紅葉

秋の夕日に

もみじ

高野辰之



学校の二宮尊徳（金次郎）さんについて

二宮尊徳と言えば、わたしたちの年代であれば誰もが知っているお名前です。勤勉の象徴として昔から至る所の学校にその銅像が建立されておりました。大草小学校にも今から61年前に岩崎一様からの寄贈により、設置されており、今でも子どもたちを見守っていただいております。



ところで、二宮尊徳は書物を片手に仕事をしているのですが、いったい何について学んでいるのでしょうか？

銅像の本にはこう書かれています。「一家仁、一国興仁、一家讓、一国興讓、一人貪戾、一国作乱、其機如此、此謂一言憤事、一人定国」これは、儒教（儒学）の基本思想を示した経典『論語』『孟子』『大学』『中庸』の四書のうち、自己修養と政治思想を説いた『大学』の解説だそうです。「一人ひとりが思いやりや慈しみの心を持てば、みんなこぞってその心になり、一人ひとりが自らへりくだった謙虚な気持ちを持てば、みんなこぞってその心となり、一人ひとり自分だけの利益だけを考えて、間違っただけをすれば、みんなこぞってその心となって社会は乱れ、人々は争い始める」ことを教えています。

なんとも、ただ勤勉のために建てられている銅像とばかり思っていたのですが、その裏には深い意味があったのだなあと感心したところです。時代の流れに乗り遅れないようにとの思いで、情報収集を行うのも大切ですが、故きを温ねて新しきを知ることも必要であることを感じた次第です。

☆ 11月の主な行事予定 3のつく日は「えがおの日」

- 1日（水）個人面談～2日
- 3日（金）文化の日 大草塾（神待祭）
- 7日（火）学校栄養職員指導 5・6年生学級レク
- 10日（金）のびーるくんバス旅行
- 14日（火）市内音楽会（2～6年） 1年生活科見学旅行
- 22日（水）伊木力小オレンジデー（全学年参加）
- 23日（木）勤労感謝の日
- 27日（月）給食費集金日～29日
- 12月1日（金）大草発表会



学校の様子等については、大草小学校HPにも掲載しておりますので御覧ください。